

## 平成 26 年度 第 4 回 SD 研修会

日 時	平成 26 年 10 月 3 日 (金) 16 : 20 ~ 17 : 25
場 所	宮崎国際大学 2 号棟 107 教室
説 明 者	永田学長、福田副学長 (通訳 : ロイド学部長補佐)
出 席 者	22 名
研 修 内 容	
<p>科学研究費の申請を前に、教職員を対象に「科学研究費の概要と申請書作成時のポイント」についての研修会が行われた。</p> <p>まず、永田学長が科学研究費の概要について、ご自身の研究実績を紹介しながら説明された。研究内容は当然のことながら、科学研究費の審査員はその分野の学会員が行うため、国内での学会活動も重要であることを強調された。</p> <p>続いて、福田副学長より、科学研究費の申請書を作成する際の具体的な注意点について説明がなされた。本学では、総務課が申請窓口となっているが、内容や文章のチェックは行わず、予算額の数字と体裁のチェックを行うこととしている。しかし、申請書の内容が専門的で難しいものは採択されにくいので、第三者に校正を依頼することを薦められていた。また、申請の際、採択結果の開示希望を選択することができるが、IR の観点からもなるだけ、開示に協力してほしいと説明された。</p> <p>最後に、今年度「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」の見直しが行われたことを受け、大学等の研究機関が責任を持って不正行為防止に関わるものが強化され、今後は研究者として公金を使用することへの責任が一層問われることを強調された。</p> <p>上記のほか、学内外の研究機関及び研究者との連携についても触れ、本学は実験設備等が整っていないため、宮崎大学の共同研究等に興味のある場合は、福田副学長に相談するようにと話されていた。</p>	